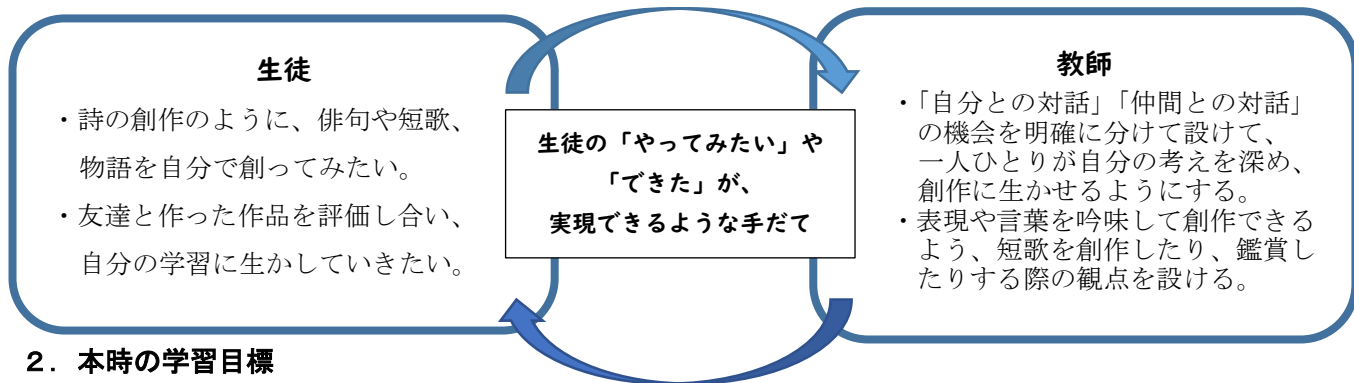


1. 生徒と教師の内省の往還（実施アンケートより）



2. 本時の学習目標

- ・仲間との交流を通して、自分が作成した短歌の表現や言葉を吟味することができる。

3. 学習活動（本時4/5）

学習活動	
・生徒の学習活動	・教師の手立て、支援
① 前時の確認・短歌を修正するための準備体操（10分）<一斉>	
<ul style="list-style-type: none"> ・前時に創作した短歌を確認をする。 ・短歌を修正するための準備体操に取り組む。（ペア） 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習を振り返り、「五・七・五・七・七」のリズムや体言止めなどの表現技法について確認する。 ・全体で同じ短歌を扱い、「表現や言葉を吟味する」例を全体で取り上げ、修正のポイントを確認する。
② 表現や言葉を吟味し、互いの短歌にアドバイスを送り合う。（20分）<協働>	
表現や言葉を吟味し、世界に一つの短歌を創ろう。	
<ul style="list-style-type: none"> ・仲間とアドバイスを送り合い、短歌の修正をする。 (グループ) 「最後の七文字の順番を入れ替えて体言止めにしよう。」 「色や時間の対比を明確にするために言葉を吟味しよう。」 ・交流の直後に振り返りを行い、気付いたことや感じたこと、これからの修正のポイントについてまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アドバイスを積極的にできるように、感じたことを相手に伝えることは、作品をより良いものにするために重要であるということ全体で確認する。 ・仲間と交流する時間の中で、同じ出来事や気持ちでも表現が多様にあることに気付き、創作の際に表現を吟味できるようにする。 ・グループについては、国語科の学習のための班編成を行い、単元内で繰り返し活動することで、アドバイスを送り合える関係性を築いていく。 ・授業の中間（交流の直後）に振り返りを行うことで、これまでの自分の学びをまとめ、これからの自分の学びや活動についての見通しを持てるようにする。
③ 交流を通して得た学びを生かして、自分の短歌の修正をする。（15分）<個>	
<ul style="list-style-type: none"> ・まとめたポイントを参考に、自分の短歌の修正を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が初めに創作した短歌からの変化を意識させ、交流を通して表現を吟味できたことを実感できるようにする。
④ 学びの地図に振り返りを記入する。（5分）<個>	
<ul style="list-style-type: none"> ・次回の短歌の鑑賞会に向けて、短歌を創る上で工夫したこと、仲間から学んだことなどを記入する。 ・この時間で考えた『短歌』とは何かをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次回、短歌の鑑賞会を行うことを確認する。 ・お互いの短歌の良さを見つけて、今後の創作活動に生かせるようにする。

4. 評価

- ・仲間との交流を通して、表現の効果を考え自分の思いが伝わる短歌になるように工夫をしている。

（記述内容、思・判・表）